

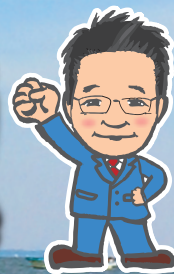
県政活動報告書

令和3年号



みんなの声を県政へ
茨城県議会議員

きよし
とつつか 潔



「人が輝くまちづくり」に全力で取り組んでいます！

皆様方には平素より外塚潔の県政活動につきまして、多大なるご支援とご協力をいただき誠に有難うございます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症により、亡くなられた方々にご冥福をお祈り申し上げますとともに、罹患された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

また、県民の命を守る為強い使命感を持って最前線で治療にあたっておられる医療従事者の皆様をはじめ感染防止にご尽力をいただいております。全ての皆様に、心から敬意と感謝を申し上げます。

昨年は、営業戦略農林水産委員会として「世界に飛躍する茨城」の実現と茨城農林水産業の成長産業化の推進をテーマに調査活動を行って参りました。そのような中、感染拡大防止の影響で経済が低迷し県内の農林水産業に大きな損失が生まれ新しい販路開拓が迫られました。県では花卉生産者のインターネット販売の活用法や常陸牛・奥久慈軍鶏生産者、養殖鯉業者には学校給食へ提供する取組みを作り、支援しました。

本年1月22日の臨時議会では、医療従事者等に応援・慰労金と営業時間短縮要請協力金等補正予算210億円を承認し、令和2年度は予算総額が1兆4千億円となりました。

3月定例会では本県の令和3年度当初予算1兆2951億7839万6千円を承認しました。

審議では、強い農林水産業を実現する政策や、

梨の恵水の大玉ブランド化、茨城かんしょトッパー産地拡大事業、茨城の養殖産業創出事業等、本県の持つ様々な素材の組み合わせにより、新しい豊かさや住み続けたい県に主眼をおき議論を深めました。

4月28日の臨時議会では、医療従事者応援事業に11億円、営業時短要請協力金180億円、生活福祉資金貸付原資等助成事業88億円等補正予算総額294億1千万円を強力な支援策として承認しました。

5月に入り本県でも感染減数が鈍化したため、独自に1週間平均で1万人当たり1.5人以上の陽性者が出ると感染拡大市町村の指定をして時短要請をしております。まだまだ不自由な生活を強いられていますが、医療従事者等のワクチン接種が済み高齢者の方への接種も始まりました。全ての皆様に無料で提供されますので安心してお待ち下さい。

これからも、新しい生活様式に対応した魅力ある事業や新型コロナウイルス感染拡大防止と社会経済活動の両立を目指す施策に積極的に取り組んでまいります。

令和3年も、「みんなの声を県政へ」という初心に沿い「より便利に、より快適に、人が輝くまちづくり」を実現する為の活動をして参ります。

引き続き県政発展のために尽くして参る所存でございますので、皆様方には、倍旧のご指導ご鞭撻をいただけますようお願い申し上げます。



● 一般質問の録画は以下のサイトからご覧になれます。茨城県議会・インターネット中継 <http://www.ibaraki-pref.stream.jfif.co.jp/>

1. 「泳げる霞ヶ浦」を取り戻すための取り組みについて

(1) 森林湖沼環境税の成果と検証



外塚議員質問

森林湖沼環境税は、森林や湖沼・河川の保全などを目的として、平成20年度に創設された。

これまで県では、生活排水、工場・事業場排水、畜産・農地からの負荷などの対策に取り組むとともに、霞ヶ浦水質保全条例などを改正し、**霞ヶ浦流域の小規模事業所に対し、本年4月より更に厳しい排水規制を講じることとした。**

来年度は、森林湖沼環境税の最終年度であり、西浦と北浦の水域別・流域別の観点も取り入れた検証を加えるとともに、この税の投資で実現すべき数値目標も議論し、その実現に向けたロードマップも描くべきと考える。

知事は、3年前に掲げた公約で「霞ヶ浦、牛久沼、涸沼などの水質浄化」を掲げており、**森林湖沼環境税を投資した成果、残された課題、達成目標について、所見を伺う。**



大井川和彦知事答弁



生活排水対策では、12年間で約1万基の高度処理型浄化槽の設置補助、約7千件の下水道接続などを促進した。工場・事業場排水対策では、改正された霞ヶ浦水質保全条例の施行に先立ち、小規模事業所への指導を強化した。

結果、霞ヶ浦のCOD濃度は、税導入前の平成19年度が1リットル当たり8.8ミリグラムであったのに対し、令和元年度には6.9まで低下した。一方、**西浦より北浦の方がCOD濃度が高く、未処理の生活排水の割合が高いこと、畜産業が盛んなことなどが要因と考えられるため、近年、北浦流域対策を重点化してきた。**

第3期森林湖沼環境税は令和3年度までであるため、着実に事業を進め、作業中の第8期湖沼水質保全計画に関する議論を参考にしながら、「泳げる霞ヶ浦」の達成に向けた、着実かつ効果的な水質浄化対策をスピード感を持って進めていきたい。

(2) 霞ヶ浦環境科学センターの役割とチャレンジ



外塚議員質問

開設15周年を迎え、県には、約38億円の投資をしたセンター設立の意義に向き合い、霞ヶ浦というフィールドをどう

生かし、流域住民とどう関わり、「泳げる霞ヶ浦」をどう実現していくのか真剣な議論をしてほしい。

加えて、事業成果・研究成果の利活用と発信、楽しみ・稼げるサービスも含めたセンターマネジメントをサポートする他との連携体制の構築を提言する。

本庁の生物多様性センターやミュージアムパーク県自然博物館などとの連携強化、霞ヶ浦の歴史や民俗、農林漁業や食文化をテーマとした事業コラボ、更には**サイクルツーリズムや農泊、観光戦略**などとセンター事業をつなぎ合わせる**マネジメント力が求められている**と考える。

「泳げる霞ヶ浦」と「楽しみ、稼げる霞ヶ浦」を両立したサービスの発信拠点として未来に向けたセンターの役割と実現すべき目標、新たな事業運営へのチャレンジについて、所見を伺う。

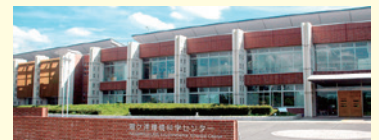
県民生活環境部長答弁



開設以来、センターでは、北浦流入河川における汚濁要因の解明、国内初となる霞ヶ浦の生態系サービスの経済的評価と数値化などの成果を上げるほか、累計43万4千人に湖上体験スクールなどの環境学習に参加いただいた。

時代の潮流を踏まえたセンターの役割としては、平成30年度の世界湖沼会議で「いばらき霞ヶ浦宣言2018」に記載された「生態系サービスを次世代に引き継いでいく精神」を、地域に浸透させることがあると考える。

この役割を果たすため、霞ヶ浦に関係する市民団体が一堂に集うイベントなどを通じ、歴史、民俗、農林漁業、観光など、さまざまな分野の方々と連携していきたい。更に今後、年間約50万人もの来場者があるミュージアムパーク茨城県自然博物館と連携し、そのノウハウを活用した取り組みを進めていく。



2. 地元住民と共に創るつくば霞ヶ浦りんりんロード事業の展開について



外塚議員質問

長引くコロナ禍の中、県には、サイクリストの宿泊環境の充実やツアー造成への働きかけ、各種人材育成、コロナ感染予防策の周知などに取り組んでいただいているが、地域住民と協働してサイクルツーリズムを育てていく、中長期的な取り組みが欠けているのではないか。

地域住民自身が、つくば霞ヶ浦りんりんロードの簡易な路面維持や補修、周囲の除草・伐採作業などに主体的かつ継続的に取り組むような機運が醸成されてこそ、未来に向けて輝くりんりんロードになると考える。

アフターコロナを見据え、地元住民との協働や県民の環境保全意識の育成などの観点も取り入れながら、つくば霞ヶ浦りんりんロード事業をどう展開していくのか所見を伺う。

県民生活環境部長答弁



つくば霞ヶ浦りんりんロードにおいては、平成30年7月に、県、市町村、各種団体、企業などによる利活用推進協議会を設立し、官民一体となってサイクルツーリズムを推進している。

現在、沿線11か所で広域レンタサイクル事業を行うとともに、モデルルートの設定や、観光施設、飲食店、イベントなどの地域情報を発信している。今後は、「**サイクリストにやさしい宿**」のPRと併せ、サイクリングツアーの造成支援により**宿泊客を増やし、サイクリストの消費金額を高めていく。**

地域住民との協働による周辺環境の整備は、こうした取り組みを推進する基盤であり、県では、道路の清掃や除草、花壇の手入れなどを行うボランティア団体に、活動用具の支給などを行っている。引き続き地域が主体的かつ継続的にサイクルツーリズムに携わっていく機運の醸成に努める。

歩崎棧橋



自然再生地区



古民家江口屋



サイクリングロード Cycling IBARAKI



湖岸



ワカサギ



沖の内地内堤防スロープ設置



3. 霞ヶ浦二橋の整備について



外塚議員質問

霞ヶ浦二橋の整備については、3年前に知事が掲げた公約で「茨城の発展を支えるインフラ整備」として明記されている。

その後、県内では、令和元年東日本台風による被災や新型コロナウイルス感染症の発生など、大きな社会情勢の変化があり、県の財政見通しも以前とは異なっているが、この構想実現のため、平成8年に霞ヶ浦二橋建設促進期成同盟を設立して以来、**かすみがうら市を含む11市町村が20年以上にわたって要望活動を行ってきた時間の重みもある。**

現時点における、知事の霞ヶ浦二橋の整備に関する所見を伺う。

大井川和彦知事答弁



現在、期成同盟から要望いただいた県道美浦栄線バイパスや県道竜ヶ崎阿見線バイパスのほか、石岡小美玉スマートインターチェンジと茨城空港とを結ぶ茨城空港アクセス道路などの整備を進めている。これにより、県内各地域や首都圏などとのアクセスが一層向上し、周辺への産業立地や、茨城港・鹿島港の港湾物流の増加、茨城空港などによる国内外との交流の促進が大いに見込まれる。

一方で、その整備に莫大な費用と時間を要する構想であり、今後の社会保障関係費の増加、公共施設の老朽化への対応などを踏まえつつ、定住人口や交流人口の動向、沿線開発の状況、費用対効果なども勘案し、長期的な視点で取り組む必要がある。

まずは、現在、事業が進展している路線整備などを最優先に進めつつ、**地元市町村と知恵を出し合い霞ヶ浦二橋の実現に向け努力していく。**

霞ヶ浦二橋の整備



2050年頃の霞ヶ浦周辺のネットワーク

安心して出産・子育てができる医療体制

周産期拠点病院



小児救急輸番制・拠点病院



子ども救急電話相談 #8000



4. ウィズ・コロナ社会における安心安全と人材育成について

(1) 安心して出産・子育てができる医療体制と支援の充実



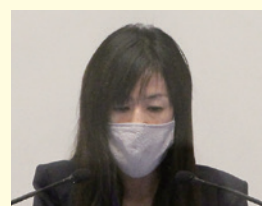
外塚議員質問

新型コロナウイルス感染症の発生以降、大都市一極集中化の抑制と地方への移住が促進されているが、若い人たちが居住地を決める際には、近隣に産婦人科や助産院などがあり、ハイリスク児などの出産や子育てにも迅速に対応できる周産期医療・小児救急医療体制が整っていることが重要と考える。

県には、**複合災害時にも、妊産婦や乳幼児がたらい回しされることのない盤石な周産期医療や小児救急医療体制の整備**と出産・子育てに対する手厚い支援を強く願います。いつでもどこでも妊産婦などが安心して出産・子育てができる医療体制の現状とその充実に向けた取り組みについて、所見を伺う。



保健福祉部長答弁



本県では、県内を3地域に区分し、それぞれに総合周産期母子医療センター、地域周産期母子医療センター、周産期救急医療協力病院を整備している。

地域の産科で対応が困難な妊産婦や新生児の緊急搬送には、地域の産科と周産期母子医療センター、消防機関が連携して対応できる体制が構築されており、小児救急医療でも、県央・県北、県南東、県南西の3医療圏ごとに**小児救急中核病院と地域小児救急センターを配置し、安心して出産・子育てができる医療体制を構築**してきた。

市町村などと連携しながら妊産婦に応じた支援策の検討などを行っているほか、子どもの急病などには、**「子ども救急電話相談#8000番」を整備し**、災害時への備えとして、治療が必要な小児・妊産婦の搬送調整などのため、災害時小児・周産期リエゾンの養成を推進するなどの体制を構築している。

(2) 「新しい学校生活」を充実させるための取り組み



外塚議員質問

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、児童生徒はこれまでと異なる「新しい学校生活」を余儀なくされてきた。

こうした中、部活動や文化催事、修学旅行や職場体験などは、学校再開ガイドラインに基づき、感染防止対策を講じた上で、可能な範囲で実施されたと聞いているが、各学校が学校行事などの実施を検討するために役立つ、踏み込んだ取り組みは行ってきたのか。

子どもたちが一生の思い出を残し、円滑に進路選択に進んでいけるよう、学校が、学校行事や職場体験などを柔軟に実施できるよう取り組んでいただきたい。

児童生徒の「新しい学校生活」を充実させるため取り組み、今後どのようにその更なる充実を図るのか所見を伺う。

教育長答弁



コロナ禍にあっても県が策定した学校再開ガイドラインに基づき感染症対策を徹底し、授業や部活動、文化祭や修学旅行、職場体験などを工夫し実施してきた。

県では、全ての県立高校などを訪問して感染症対策の現場確認をし、他校の好事例紹介も行ってきた。また、文化祭や修学旅行などの実施状況、実施した際の感染症対策や代替方法などの事例も全学校に周知してきた。さらに、職場体験は、受け入れ事業所にも協力をいただいで時期を変更するなど、できる限り実施してきた。

今後も、**文化祭において吹奏楽部やダンス部などの発表を動画で配信したり、卒業式を教室にいる在校生にライブ配信するなど、具体的対応も学校に提案していく。**職場体験でも、オンラインで事業所担当者から事業内容などを伺うなどの取り組みを取り入れていく。

5. かすみがうら市周辺地域の河川・道路整備について

(1) 恋瀬川の河川改修の進捗と今後の見通し



外塚議員質問

恋瀬川は、霞ヶ浦流入河川の中でも、桜川と並んで流量が大きく、流域では幾度も大水害に見舞われてきた。

水害を最小限に食いとめるため、県には、河口からかすみがうら市高倉地先の五輪堂橋に至る下流の堤防整備、その上流部の河道掘削や光安寺橋の架け替えなどを進めてもらっているが、上流区間の改修を進めることで、**大雨時に下流部へ流れ込む水量が増加する懸念**がある。

近年も、下流部に広がる地元かすみがうら市では浸水被害などが発生しており、県には、流域住民の安心安全な生活を守るため、早期の工事進捗をお願いするが、恋瀬川の河川改修の進捗と今後の整備見通しについて伺う。

土木部長答弁



県では、霞ヶ浦の河口からかすみがうら市高倉地先の五輪堂橋まで、一部の河道掘削を残し堤防整備や橋梁の架け替えが完了した。五輪堂橋から上流の川又川合流点までの河道掘削は、今年3月には完了予定であり、光安寺橋の架け替えも用地取得が完了し、来年度より工事に着手する。さらに**今後は、残る下流側の石岡市石岡地先の府中橋から五輪堂橋までの区間の河道掘削も進めていく。**

一方、こうしたハード対策は、整備完了までに時間を要するため、水位計や監視カメラで取得した河川情報をホームページで公開するなど、**住民の避難に必要な情報提供や、マイ・タイムラインの作成支援などの取り組みを進めている。**

(2) かすみがうら市中志筑三差路の歩道整備の進捗と今後の見通し

外塚議員質問

かすみがうら市内の中志筑三差路の周辺の県道には歩道が整備されておらず、近隣の小学校へ通学する子どもたちは、道端に身を寄せて歩き、横断歩道の信号待ちでは長い列をつくって待っており、非常に危険な状況となっている。

県には、歩道整備工事などを進めていただいているが、**子どもたちや地域住民が安全・安心に歩行**できるよう、一刻も早い整備完了を強く求める。かすみがうら市中志筑三差路の歩道整備の進捗と今後の見通しについて伺う。

土木部長答弁

かすみがうら市中志筑地内の県道石岡つくば線との交差部から西側の約170メートルの区間は、通学路であるが歩道がないため、歩行者や車の安全な通行に支障を来している。

このため、平成29年度に歩道整備事業に着手し、平成30年度から本格的な用地取得を進めてきたが、地元の皆様方の協力のもと全ての用地を取得することができ、現在は、工事の支障となる**電柱の移設時期について管理者と協議を進めている。電柱の移設後、速やかに工事に着手し、令和3年度中の完成を目指して事業を進めていく。**



(3) 国道354号急カーブ区間の緩和対策の進捗と今後の見通し

外塚議員質問

鹿行地域から霞ヶ浦大橋を経て、県南・県西地区を結ぶ国道354号については、かすみがうら市内区間の4車線化及び路面の修繕を要望させていただいている。

また、かすみがうら市戸崎地区のカーブ区間は、土浦方面から走行する場合に見通しが悪く、以前から死亡事故を含めた交通事故が絶えず、**地元では魔のカーブ**とも言われてきた。

県には早急に**急カーブの緩和対策に取り組み、事故の起きにくい道路へと改善**していただけるよう求めるが、国道354号急カーブ区間の緩和対策の進捗と今後の見通しについて伺う。

土木部長答弁

国道354号のかすみがうら市戸崎地区には見通しの悪い急なカーブ区間があり、平成26年10月、令和元年8月には死亡事故も発生し、地元かすみがうら市からも、カーブ区間の改善など安全対策の要望が寄せられている。

県では、**前後区間を含めた約600メートルに「カーブ注意」や「速度注意」といった路面標示を設置**するなど、**事故防止のための即効的な対策**を講じてきた。

抜本的な対策としては、急カーブ区間の緩和などの必要があるため、道路の線形改良に着手しており、現在、**用地取得の手続きを進めている**。地元の皆様の協力をいただきながら、**早期の工事着手、完了**を目指す。

国道354号 戸崎地区カーブの緩和実現に向けて

土浦土木事務所に要望活動



国道354号 戸崎原地区路面標示



2021年 活動報告



みんなの声を県政へ

茨城県議会議員 きよし

とつか 潔



かすみがうら市に
お住まいの皆さまへ

配達地域指定



かすみがうら市 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種について

6月1日作成

1

接種券を受け取る



【接種対象者】12歳以上の市民の方
65歳以上の方に3月22日から接種券を発送。
その他の方への接種券発送は未定です。

2 予約

電話や予約システムなどで予約し、
接種することになります。
※予約の際は、接種券に記載して
ある番号が必要です。

3 接種

ひとり2回接種を行います。
3週間の間隔を空けて2回目の
接種を行って下さい。

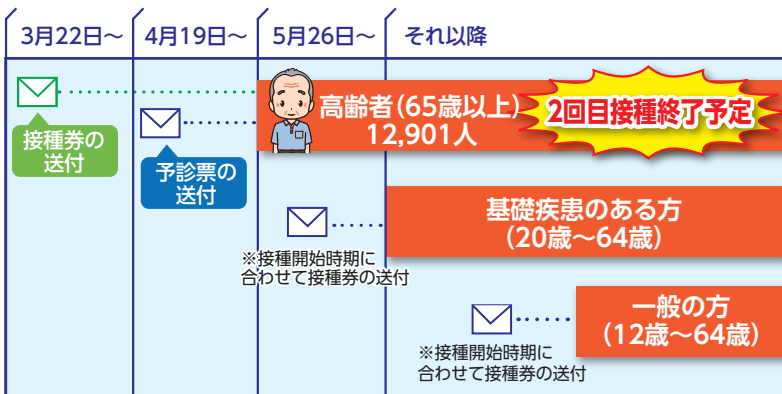


接種費用
無料

高齢者(65歳以上の方)の予約及び接種会場等 ○高齢者施設入居者：5月10日(月)～、各対象施設にて巡回接種

| 接種方法 | 予約開始日 | 接種開始日 | 接種場所 |
|------|-----------|-------------------------|-----------------------|
| 個別接種 | 5月12日(水)～ | 5月26日(水)～ | 市内医療機関 (一覧は予診票に同封) |
| 集団接種 | 5月12日(水)～ | 5月26日(水)～ (水・木・日で実施) | かすみがうらウエルネスプラザ |
| | 6月9日(水)～ | ①6月21日(月) ②6月28日(月) | 千代田公民館講堂 |
| | | ③7月 5日(月) ④7月12日(月) | |
| | | ⑤7月19日(月) ⑥7月26日(月) | |

ワクチン接種のスケジュール



予約方法 集団接種、個別接種ともに以下の方法で行います。

●全国ウェブ予約システム

パソコンやスマートフォンからウェブで予約



●コールセンター (月～金:9時～17時(祝を除く))

029-853-0771

キャンセル待ち接種の登録方法 5月17日現在

○詳細はかすみがうら市のホームページをご覧ください。

64歳以下の方の予約及び接種会場等

○日程は未定です。決まり次第、速やかにお知らせします。

○接種開始時期に合わせて、接種券を送付します。

現在、皆様の生活、教育、経済、医療機関の問題など身近な諸問題、諸課題をお知らせ下さい。

皆様のご意見をお聞かせください

新型コロナウイルス・働く場・医療・教育環境・観光産業・道路整備 などについて



発行 / 茨城県議会議員 外塚 潔

〒315-0055 かすみがうら市稲吉南3-14-20

mail:totsuka.kiyoshi@poplar.ocn.ne.jp

http://www.totsuka-kiyoshi.net

TEL 029-831-6880

FAX 029-831-6882



facebook

